

北九州学術研究都市のまちづくりのための
周辺住民の意識調査

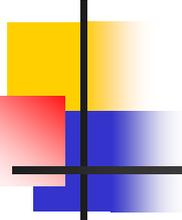
認知度、利用状況、今後の要望
に関する分析結果

北九州市立大学

白石靖幸

名古屋大学

原田昌幸, 河原真紀子



北九州学術研究都市とは

土地区画整備事業として平成7年度より整備が開始され、平成14年度より北部エリアの第二期事業がスタート。

この事業では、「人」と「緑」と「知」が織り成す新しいまちづくりを基本理念とし、行政主導の下に公共施設整備、良好な住宅地及び大学・関連施設用地の供給を図り、複合的なまちづくりを目的としている。

現在、第一期事業については80%程度終了しており、北九州市立大学・大学院、早稲田大学大学院等が設置されている。



第二期事業エリア

第一期事業エリア

第三期事業エリア

凡例

- 第1期事業区域
- 第2期事業区域
- 第3期事業区域

事業の今後の課題と現在の活動

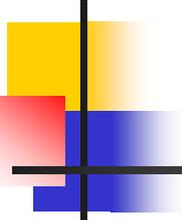
今後の課題

利用者及び周辺住民の要望をつかみ、よりよい形で如何に第二期事業に反映するか。



現在の活動

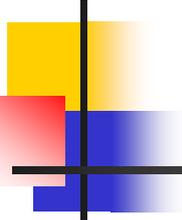
アンケート調査や周辺住民を対象としたワークショップを実施することにより、広く住民の意見を今後の学研都市の開発に反映できるように務めている。



研究目的

本研究では、「北九州学術研究都市のまちづくりのためのアンケート調査」と題したアンケート調査を行い、利用者及び周辺住民の意見を反映させた今後の第二期事業の改善策を提案することを目的としている。

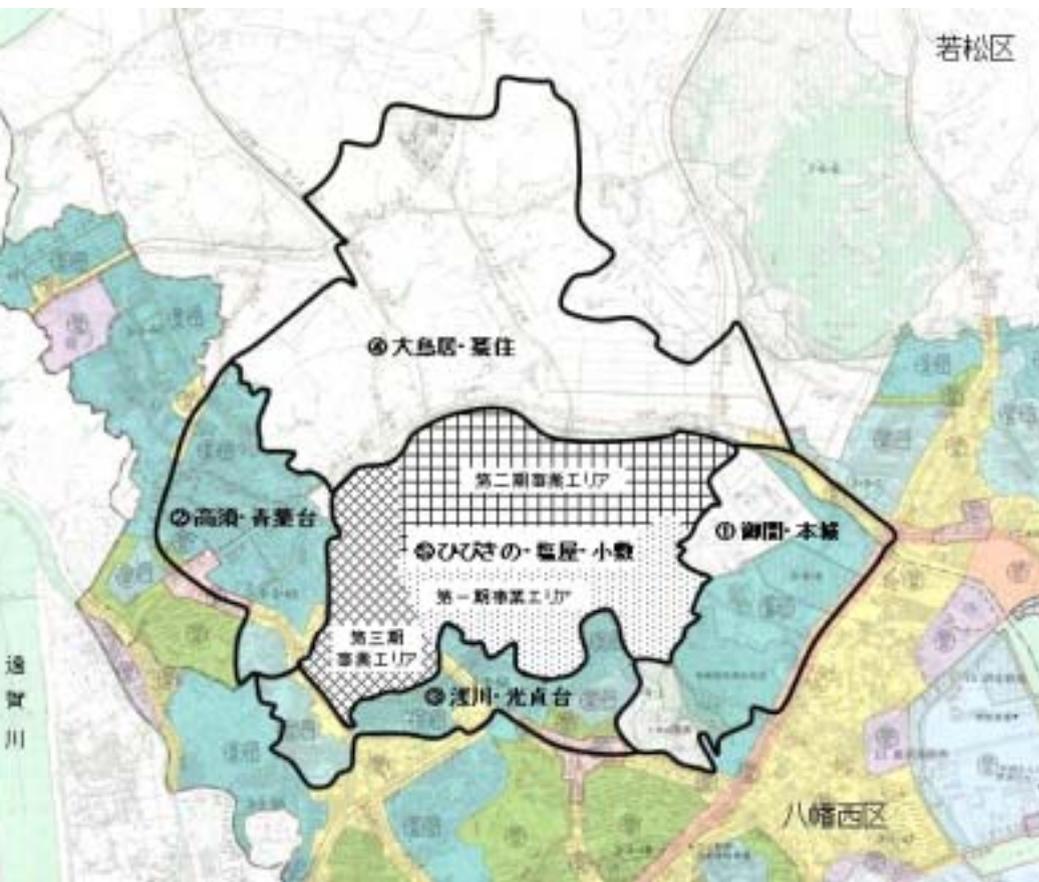
ここでは、アンケート調査の概要及び回収状況、更に周辺住民の意識についての分析結果を報告する。



調査概要

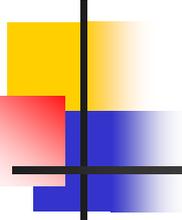
- 1) 調査地域: 学研都市内および周辺の5地区
- 2) 調査対象: 調査地区内に住む満20歳以上満65歳未満の主婦
- 3) 標本数は514人。学研都市周辺の ~ 地区は各100人とし、学研都市内の ひびきの・塩屋・小敷地区のみ全数調査(114人)を行った。
- 4) 標本抽出法: ~ 地区は、住民基本台帳から系統抽出法により無作為抽出を行った。
- 5) 調査方法: 片道郵送法。
- 6) 調査時期: 2003年11月4日に発送し、11月7日 ~ 11月17日の間に回収を行った。

調査対象地域



調査対象地域の概要

地区名	総世帯数	特徴
御開・本城	719	昔から住む住民と新興住宅とが混在する地区
高須・青葉台	2532	新興住宅地
浅川・光貞台	2634	昔から住む住民が多い。20年程度経過した新興住宅地。ただし浅川学園台は、比較的新しい住宅地
大鳥居・蛭住	951	市街化調整区域であり、昔から住む住民が多い。
ひびきの・塩屋・小敷	306	学研地区内(第一期事業エリア) 学研地区内(第二期事業エリア) 学研地区内(第三期事業エリア)
総計	7142	



調査概要

質問事項

- [Q1] 学研都市の認知度
- [Q2] 学研都市の印象・施設の利用状況
- [Q3] 学研都市の今後の計画に対する要望
- [Q4] 学研都市内の住宅地に対する要望
- [Q5] 一般生活意識
- [Q6] 団体・グループ活動に関する意識
- [Q7] 生活圏に関する調査
- [Q8] 住宅地に関する意識
- [Q9 ~ Q11] 対象者自身、世帯、住居に関する属性項目

回収状況

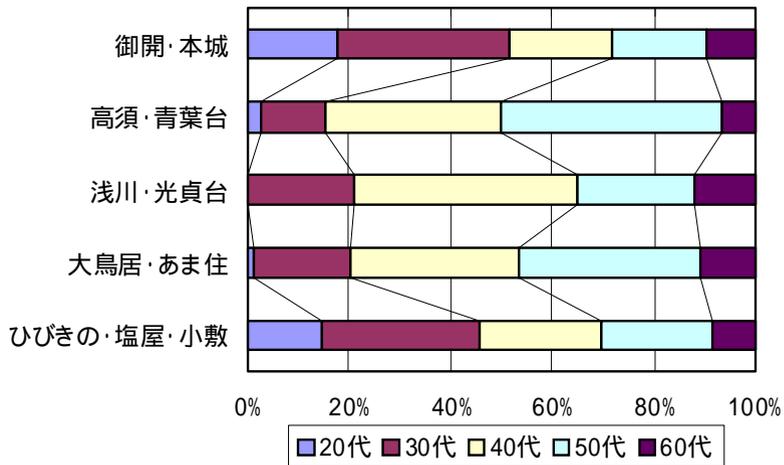
回収結果

<票数/(相対度数%)>

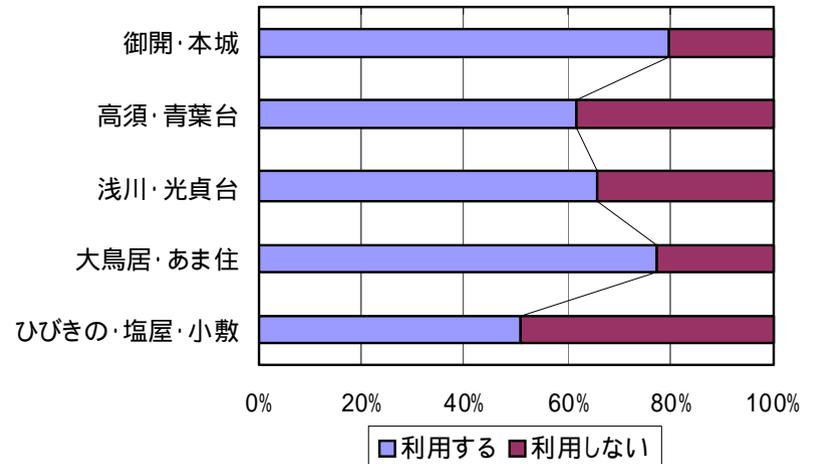
	全体		御開・本城		高須・青葉台		浅川・光貞台		大鳥居・蟹住		ひびきの・塩屋・小敷	
送付数	514	(100.0)	100	(100.0)	100	(100.0)	100	(100.0)	100	(100.0)	114	(100.0)
有効回収票数	417	<u>(81.1)</u>	74	<u>(74.0)</u>	78	<u>(78.0)</u>	85	<u>(85.0)</u>	84	<u>(84.0)</u>	96	<u>(84.2)</u>
無効票数	97	(18.9)	26	(26.0)	22	(22.0)	15	(15.0)	16	(16.0)	18	(15.8)
拒否	10	(1.9)	5	(5.0)	2	(2.0)	1	(1.0)	1	(1.0)	1	(0.9)
不能	77	(15.0)	20	(20.0)	19	(19.0)	12	(12.0)	11	(11.0)	15	(13.2)
転居	41	(8.0)	8	(8.0)	11	(11.0)	10	(10.0)	5	(5.0)	7	(6.1)
不在	7	(1.4)	3	(3.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(3.5)
別人回答	24	(4.7)	7	(7.0)	8	(8.0)	2	(2.0)	3	(3.0)	4	(3.5)
住所不明	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
その他	5	(1.0)	2	(2.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(3.0)	0	(0.0)
不明	10	(1.9)	1	(1.0)	1	(1.0)	2	(2.0)	4	(4.0)	2	(1.8)

属性集計結果

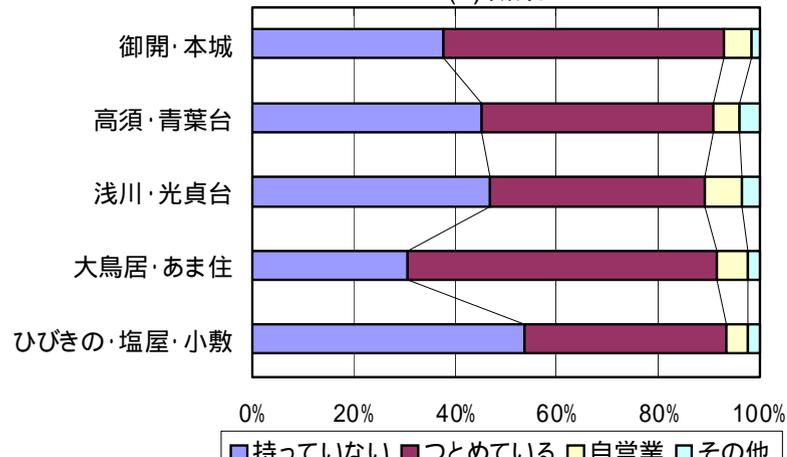
(1)年齢



(3)主たる交通手段(自動車)

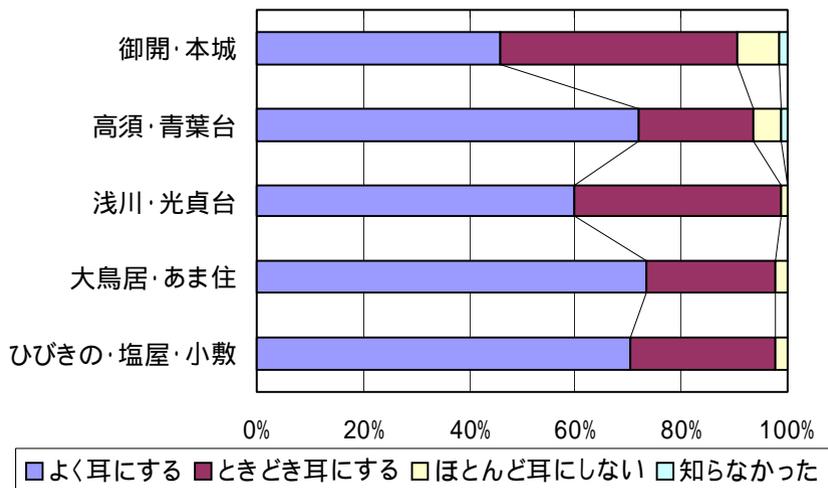


(4)職業

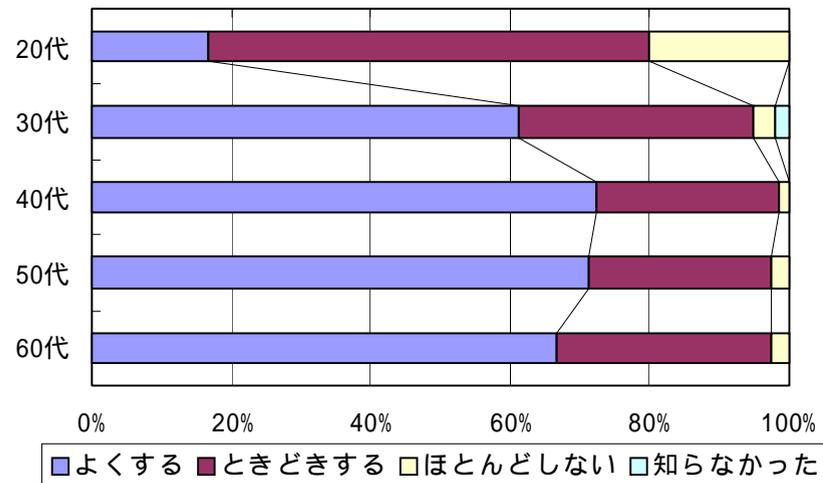


学研都市の認知度

地域別

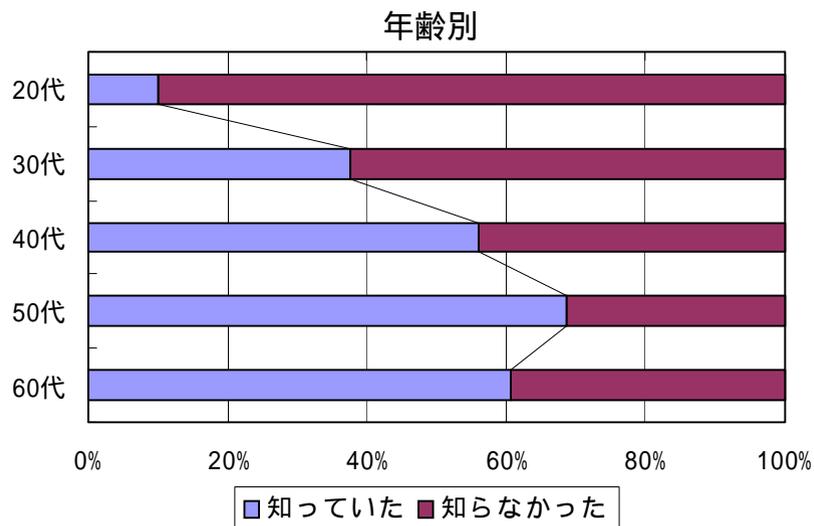
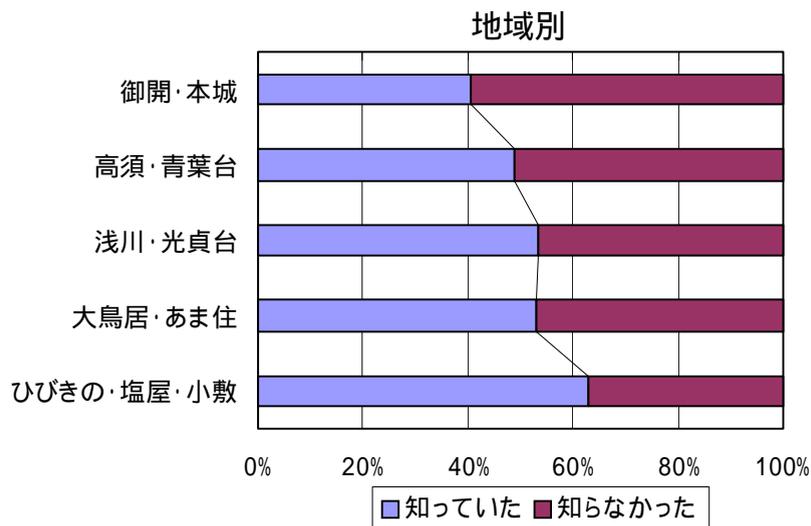


年齢別



(1) 学研都市という名前

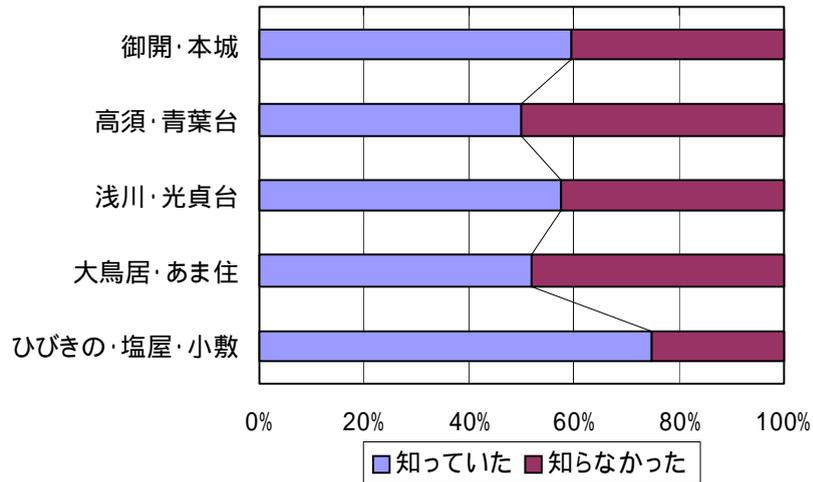
学研都市の認知度



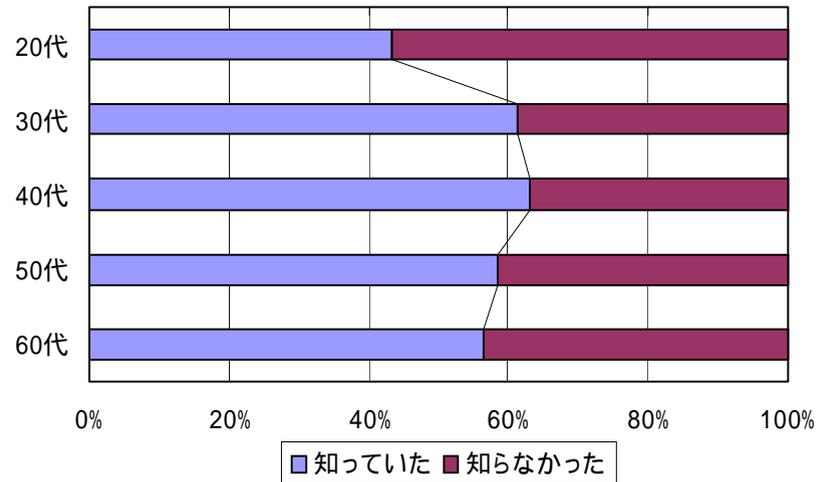
(3) 土地区画整理で事業が進められていたこと

学研都市の認知度

地域別



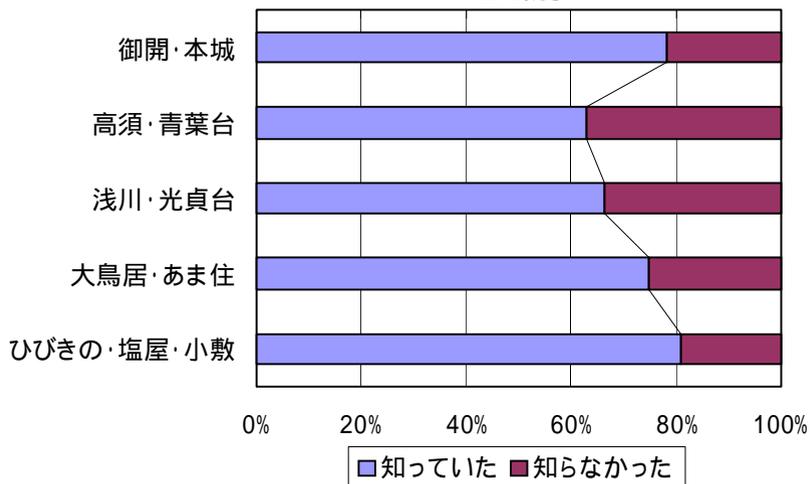
年齢別



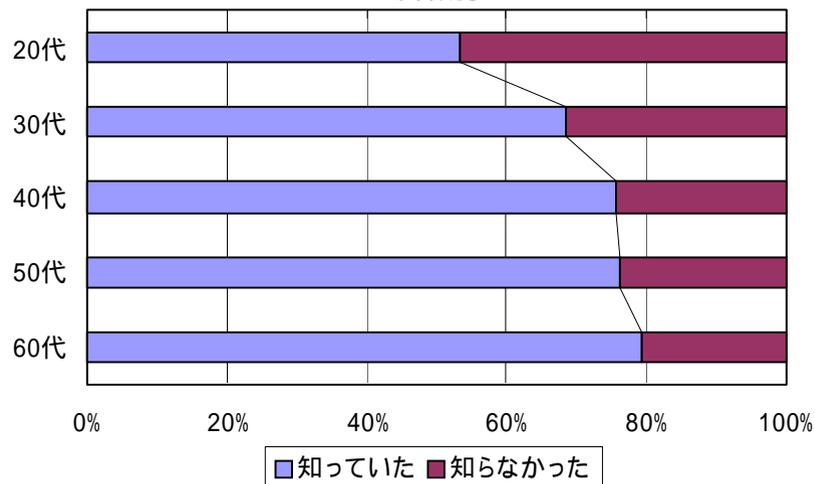
(4) 住宅地の計画

学研都市の認知度

地域別

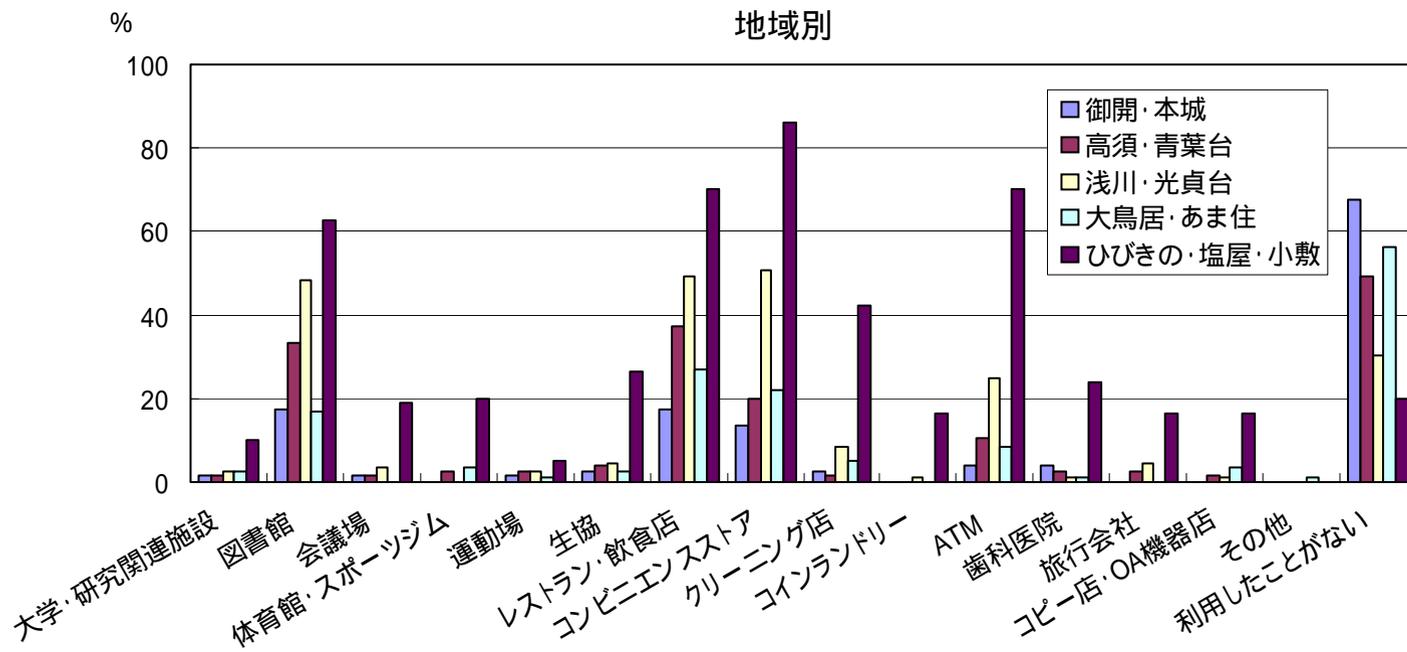


年齢別



(5) 現在も整備事業が行われているということ

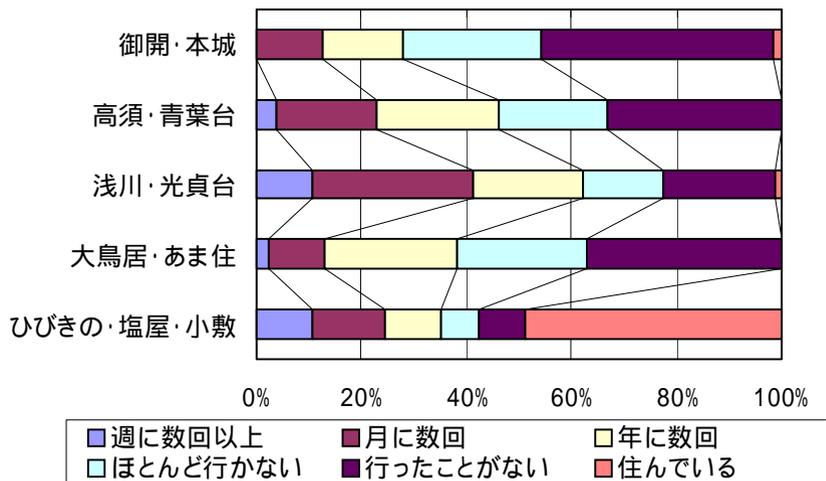
学研都市の印象・施設の利用状況



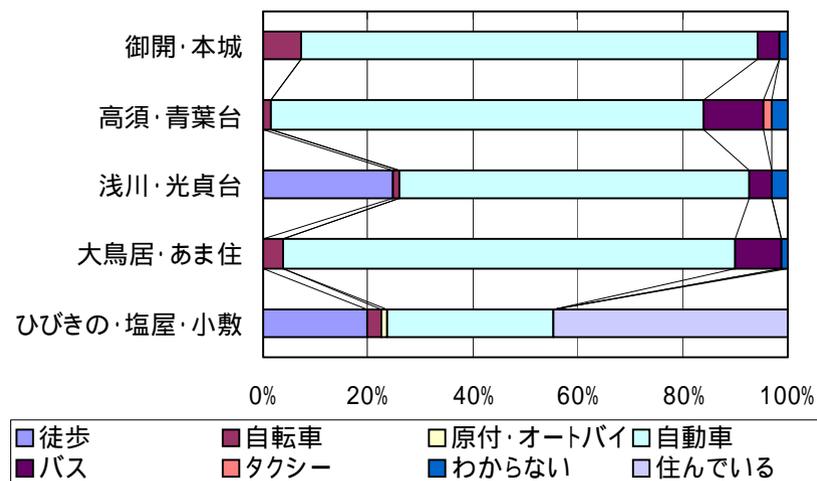
(1) 学研都市内で利用したことのある施設

学研都市の印象・施設の利用状況

地域別



地域別

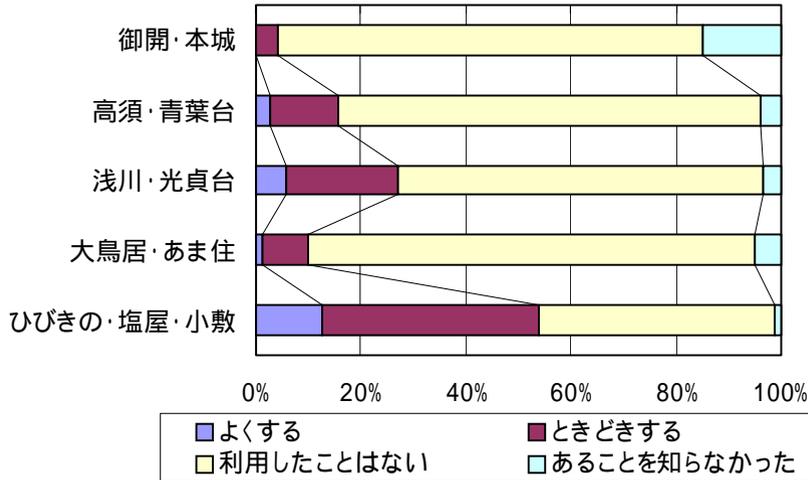


(3) 学研都市に行く頻度

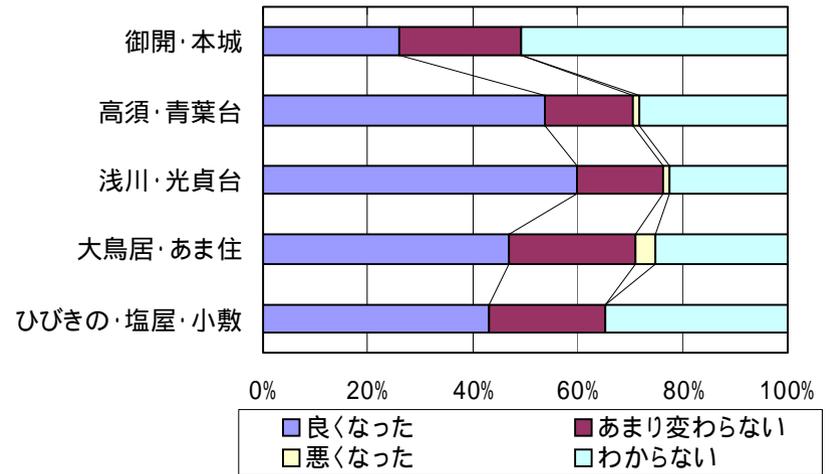
(4) 学研都市に行く交通手段

学研都市の印象・施設の利用状況

地域別



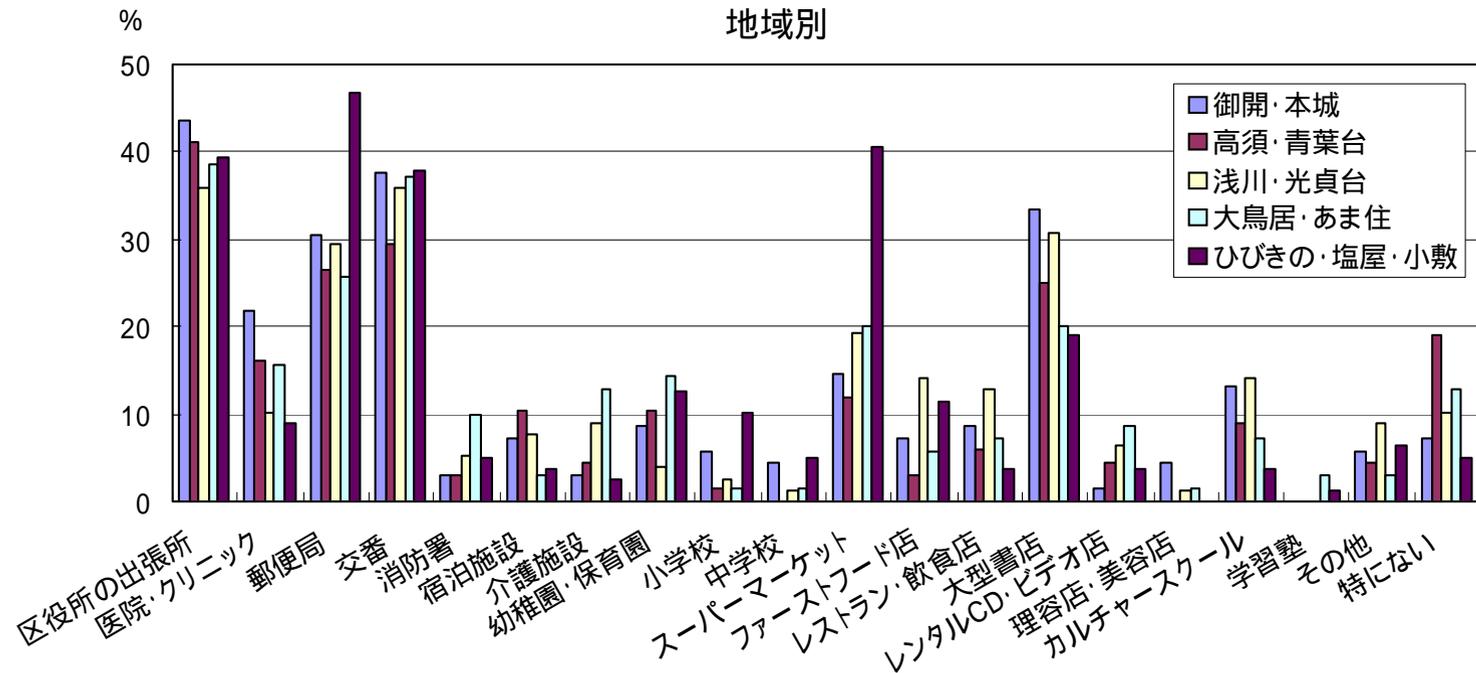
地域別



(5) 学研都市経由のバスの利用

(12) 交通の便は良くなったか

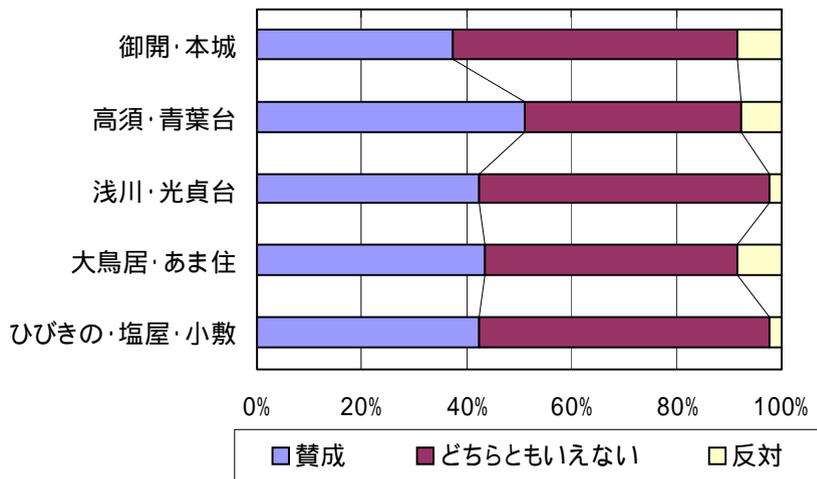
学研都市の今後の計画に対する要望



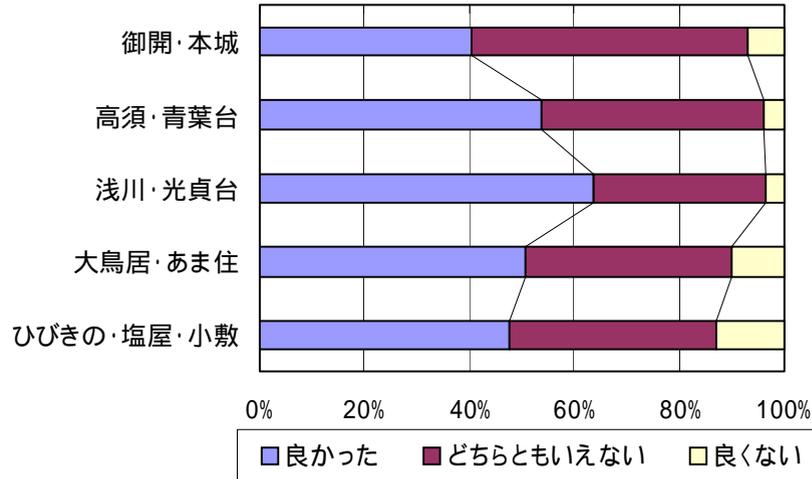
(1) 学研都市内にあればいいと思う施設

学研都市の今後の計画に対する要望

地域別



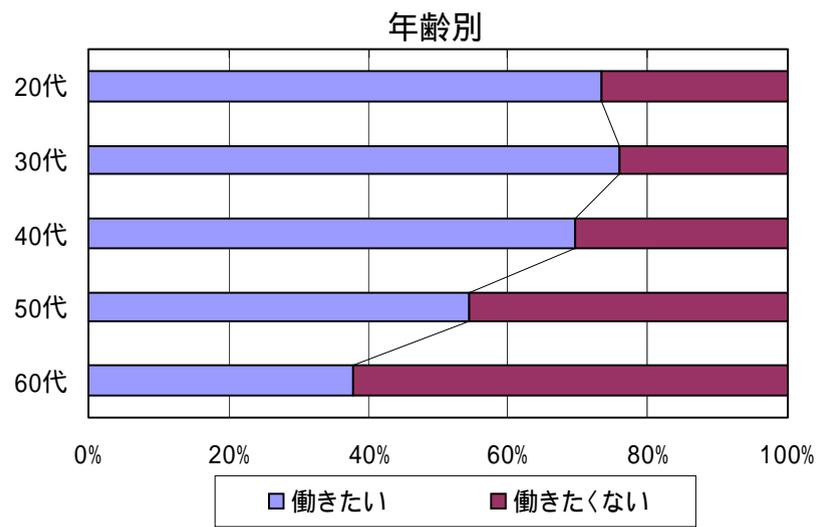
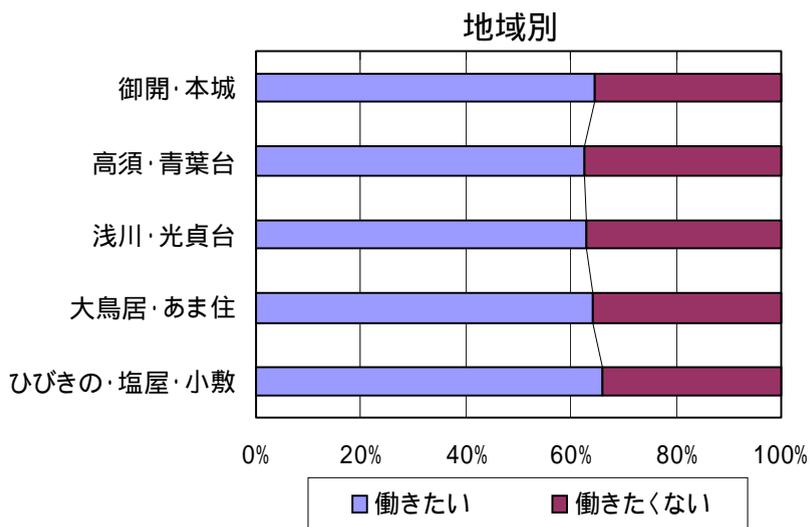
地域別



(3) 学研都市と呼ばれること

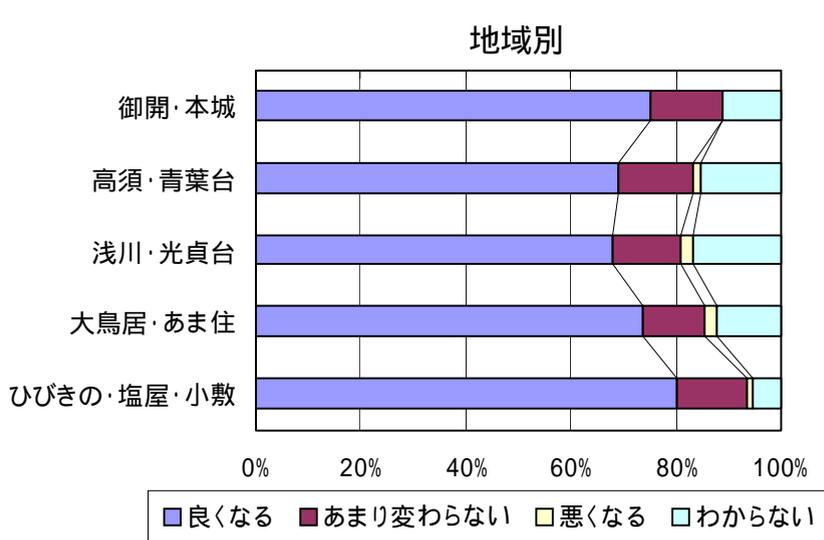
(7) 学研都市ができて良かったか

学研都市の今後の計画に対する要望

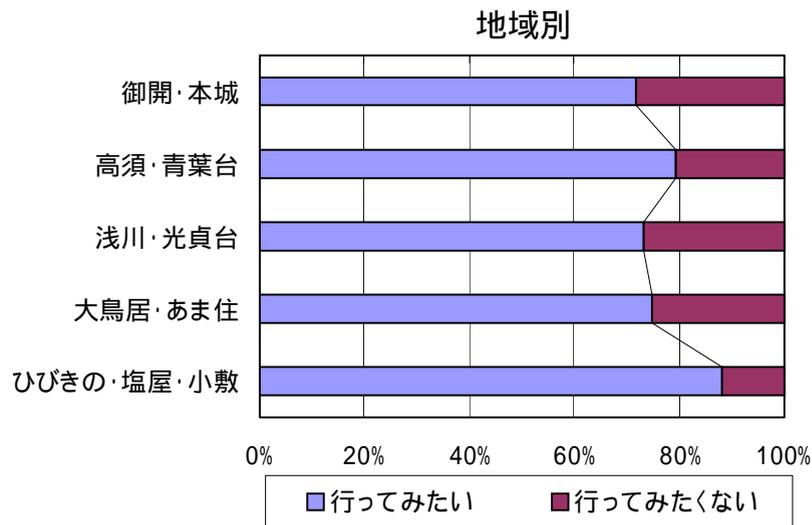


(8)学研都市で働きたいか

学研都市の今後の計画に対する要望



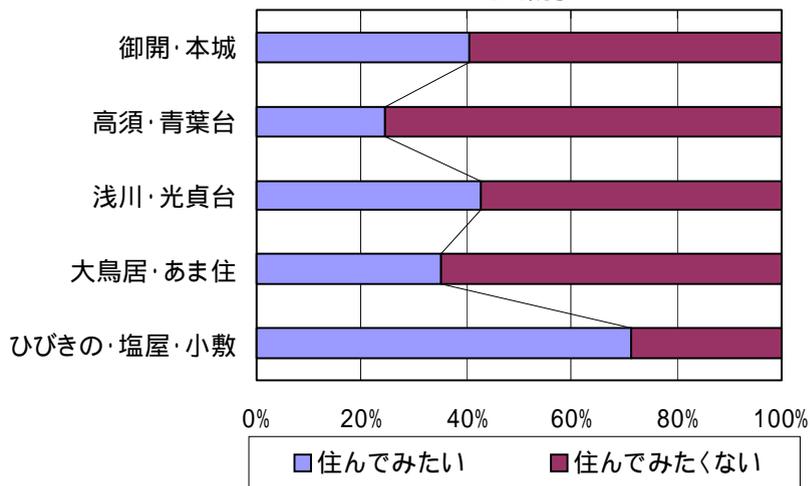
(13) 道路完成後の交通の便



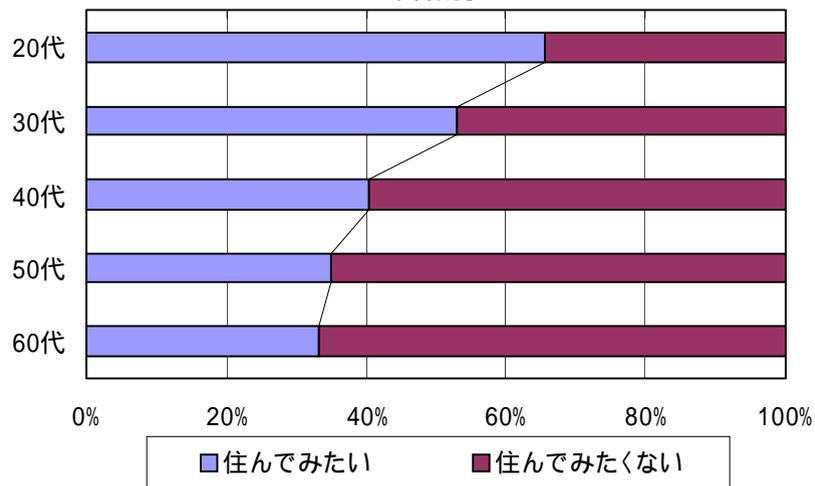
(14) 学研都市中心の街おこしイベント

学研都市の今後の計画に対する要望

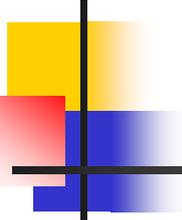
地域別



年齢別



(18) 学研都市に住みたいか



おわりに

学研都市の認知度、印象・施設の利用状況、
今後の計画に対する要望 の3つの質問事項に
関する分析を行い、求められる施設などの
今後の第二期事業の計画に参考となる有益な
データが得られた。